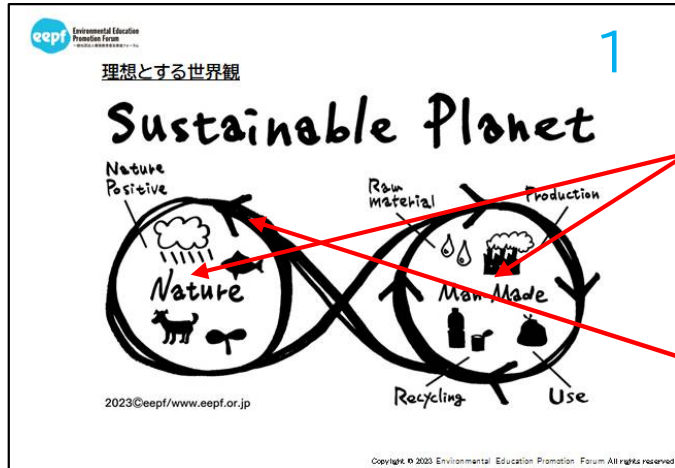


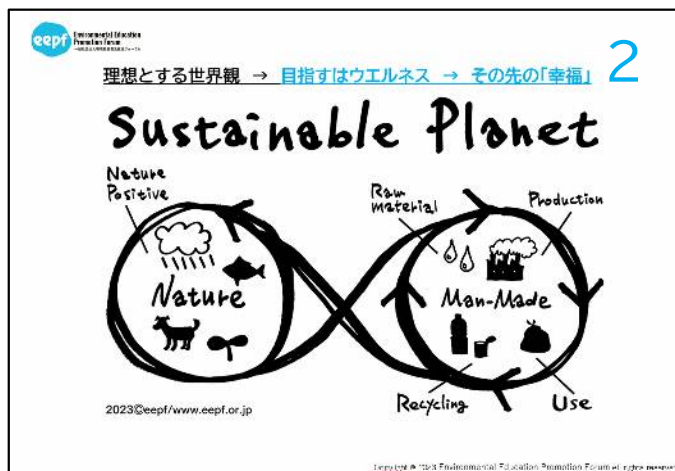
eepf "Sustainable Planet illustration" Manual

このマニュアルはSustainable Planetのイラストを用いて様々な環境問題を説明するためのリファレンスマニュアルです。この説明を参考に、利用者自身で理想の世界観の検討や現状を改善するための課題抽出などに活用ください。



1. 理想とする世界観の説明

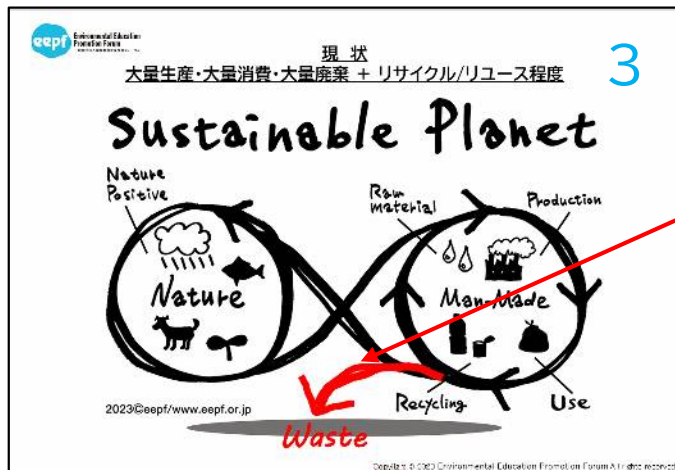
- 1) この図は人類が目指す理想の世界観を示しています。右側が「人工」、左側が「自然」です。このように「人工」と「自然」が一体となって永遠に循環することが理想の世界観です。(指で矢印をなぞる) この世界観を「サステナブルプラネット」と呼びます。
- 2) 右側の矢印は、原料 → 製造 → 使用 → リサイクルのループを示しており、一般的には「サーキュラーエコノミー」と言われ、左側の図は「自然」の再生を示しており一般的には「ネイチャーポジティブ」と言われています。
- 3) この図では、「人工」側から「自然」側に矢印が戻っています。これは使用したあとは破棄するのではなく「自然」に戻すことを表しており、「自然」の中で再生することで、それが「人工」側の原料となり、すべてが循環することでサステナブルな世界が実現します。(自然に戻す場合は使った以上を自然に戻すことが自然が枯渇しない理想とされています)



- 4) このことから考えると、自然界で再生されない石油や石炭、金属などの地下資源や原子力や化学物質の一部など廃棄により汚染物質が自然界に長期間留まるものはサステナブルプラネットでは使用してはいけないこととなります。(判断に迷ったときはこの図に当てはめて考えてみましょう)

2. サステナブルプラネットが目指すのは「幸福」

- 1) サステナブルプラネットが最終的に目指すのは、自然と人が共に健康で、よりよく生きられることを通して得られる惑星全体の幸福です。地球がそのような惑星になることが最終ゴールです。



3. 現状の説明

- 1) では、現状はどうでしょうか？ 実際には大量生産・大量消費・大量廃棄社会で、一部でリサイクルやリユースが実施されている程度です。実はこの図にはない下向きの廃棄の流れが大半です。これにはCO₂などの温室効果ガスなども含まれます。(赤矢印のところを指で示し、廃棄物がたまっていく様子を伝えます)
- 2) 循環せず廃棄されたものは、各種の処理技術により一部はその影響を最小化する試みが行われていますが、すべてをなくすことはできず、継続的に破棄され、それがたまっていくのが現状です。

4. 解決策

- 1) では、廃棄が伴う現状の社会から廃棄のない理想の社会に向かうにはどうしたらよいでしょうか？ その方法は2つあります。
- 2) 一つ目は製品やサービスを開発するときに、「サステナブルプラネット」の視点で「設計・開発」することです。このことにより、破棄されない、あるいは破棄を最小化した製品やサービスが生まれ一歩理想の惑星に近づくことができます。
- 3) 二つ目は一つ目を踏まえ、そのために必要となる技術を開発(基礎研究も含む)することや、そのほかの社会課題を解決する技術や取り組みを行うことです。これらを通して少しでも早くサステナブルプラネットが実現できるように皆で協力することが必要です。

ほかにも方法があるかもしれません。皆さんも考えてみてください。

※ 内容は予告なく変更される場合があります。

※ 問い合わせ: contact@eepf.or.jp

© 2023- Environmental Education Promotion Forum